

お客様各位

富士高圧真空遮断器 (MULTI.VCB, AUTO.V) の予防保全 ばね蓄勢後の手動引外しボタン操作時の注意とお願い

1. 対象形式

・固定形電動操作式(AUTO.Vを含む)

HA08A□-■●, HA12A□-■●

□: 据付方式(B,C,P) ■: 操作方式(A,B,C,D) ●: 引外し方式(1,2,3,4,5,6,7)

・引出形

HA08D□-■●, HA12D□-■●

□: 据付方式(X,U,Y) ■: 操作方式(A,B,C,D) ●: 引外し方式(1,2,3,4)

新形 MULTI.VCB



固定電動操作式

引出形

2. 当該 VCB の手動引外しボタン操作時の注意点

VCB の操作順序は、「蓄勢 ⇒ 投入 ⇒ 引外し」です。

しかし蓄勢された状態から「投入」操作せずに「引外しボタン(機械式)」による「引外し(放勢)」操作を行った場合、取扱説明書に記載されている適切な操作をする必要があります。

万が一、これを守らない場合は内部機構部品の損傷が発生して、正常な動作が出来なくなる場合があります。

過去、稀に手動による引外し操作をする機会(例:定期点検時に手動操作する場合など)において、誤った操作をした結果、VCB が破損する事例があったことから、安心してお使い頂ける様処置方法をご案内させて頂くものです。

3. ばね蓄勢状態(閉路待機状態)から、誤って手動引外しボタンを押す事で発生する事象

[ばね蓄勢状態からの操作]

- ① (本来であれば「投入」ボタンを押すところ)「引外しボタン」を押す。
- ② 主接点の投入がされないまま、閉路ばねが放勢状態になる。
- ③ この時 VCB の「ばね蓄勢表示器」は「蓄勢」を示したままだが、実際には閉路ばねは放勢状態である。
- ④ この状態では VCB は投入動作しません。更に、電気的な閉路指令を与え続けると、VCB 内の投入コイル(短時間定格仕様)が連続通電により損傷すると共に、盤側機器の閉路用リレーを損傷させる恐れがあります。

4. ばね蓄勢状態(閉路待機状態)から、誤って手動引外しボタンを押した場合の正しい処置方法

[ばね蓄勢状態からの操作] ④以降が正しい処置方法を示しています。

- ① (本来であれば「投入」ボタンを押すところ)「引外しボタン」を押す。
- ② 主接点の投入がされないまま、閉路ばねが放勢状態になる。
- ③ この時 VCB の「ばね蓄勢表示器」は「蓄勢」を示したままだが、実際には閉路ばねは放勢状態である。
- ④ 付属のハンドルを用いて、手動で回転出来なくなるまで(約 2 回転)ばね蓄勢操作をしてください。
- ⑤ ばね蓄勢操作が完了すると、「ばね蓄勢表示器」の「蓄勢」と一致します。
- ⑥ この状態にした後、投入操作(手動・電気)を行ってください。正常にお使いいただけます。

5. 注意喚起のご案内

前述致しました内容については、従来から取扱説明書及び VCB 本体の注意銘板にてご案内しておりましたが、より確実に本事象を防ぐ事を目的として、以下の「注意銘板の記載内容充実化」に関する製品変更通知を、お客様へご案内致します。

(1) 注意銘板の記載内容充実化

右図に示す注意銘板内容へ、変更致します。

本事象に関する技術的相談は下記技術相談窓口へ、お問い合わせ頂くようお願い申し上げます。

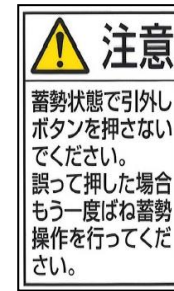
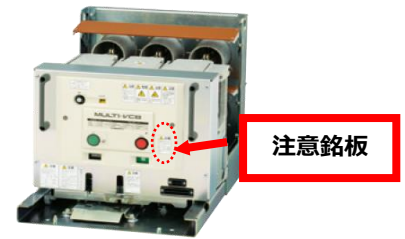
技術相談窓口：0120-242-994 フリーダイヤル(携帯電話可能)

ed-c@fujielectric.com

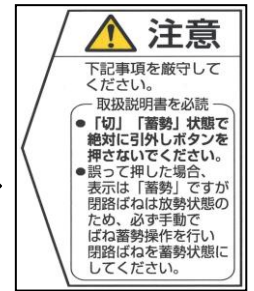
平日 8:30～12:00/13:00～17:00(土・日・弊社休日を除く)

また、注意銘板をご希望の場合は無償にてお渡しさせて頂きます。

お近くの弊社販売拠点にご連絡頂く様お願い申し上げます。



現行（引出）



変更後

(2) 富士電機機器制御(株)HP への掲載追加

予防保全 URL は下記となります。

https://www.fujielectric.co.jp/fcs/support_contact/standard/hv_distribution/

以上

No5802690